

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/07/27

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.21	-0.27
JPY/THB	0.2440	-0.0007
USD/JPY	140.24	-0.66
EUR/THB	37.93	-0.19
EUR/USD	1.1086	0.0031
USD/CNH	7.153	0.016
SGD/THB	25.80	-0.16
AUD/THB	23.12	-0.30
USD/INR	82.00	0.12
USD Index	100.89	-0.46

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.392	0.001
10Y (THB)	2.594	-0.010
5Y (USD)	4.116	-0.051
10Y (USD)	3.867	-0.018

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,970.1	6.4
WTI (Oil)	78.78	-0.85
Copper	8,617.5	-56.0

Stock

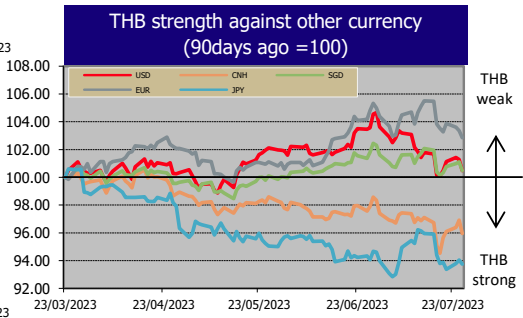
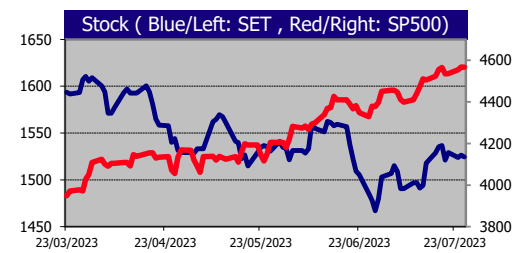
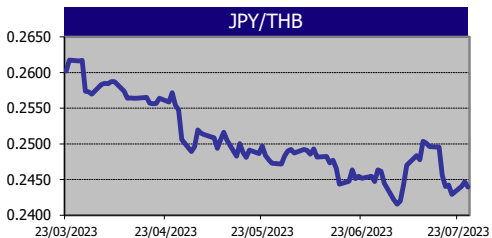
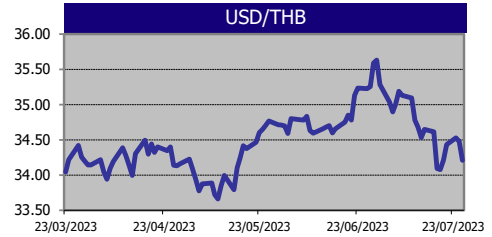
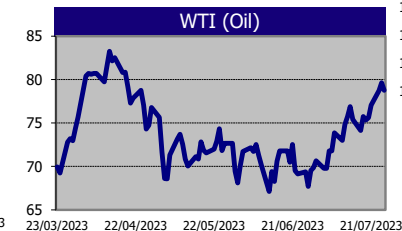
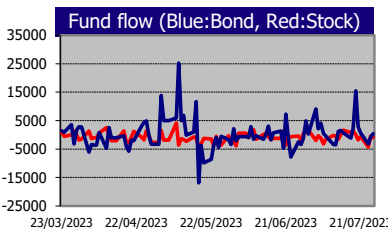
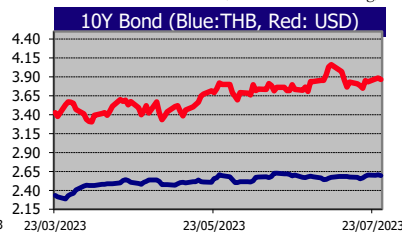
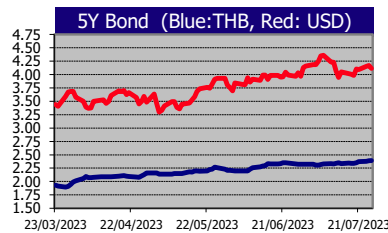
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,524.59	-1.71
NIKKEI (JP)	32,668.34	-14.17
DOW (US)	35,520.12	82.05
S&P500 (US)	4,566.75	-0.71
SHCOMP (CN)	3,223.03	-8.49
DAX(GER)	16,131.46	-80.13

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(927)	-549.4
Bond net flow	427	1252.2

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。34パーツ台半ばで取引を開始。序盤は海外時間にFOMCの結果公表を控える中、同水準でのレンジ内で推移。ただ、バンコク時間13時30分に公表されたタイ6月貿易収支(通関ベース)では予想外に黒字を確保していることが確認され、パーツ買い地合いとなり、ドルパーツは一時34パーツ台前半まで下落。以降、しばらく同水準での推移が続いた。注目のFOMCは予想通り0.25%の利上げが決定されるも、パウエルFRB議長の記者会見にて今後の利上げについてはデータ重視である旨の発言が見られたことから、ドル売りで反応。ドルパーツも当日安値圏での推移が続き、そのまま34.21レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。140円台後半で取引を開始すると、序盤は日経平均株価の堅調な推移を背景に141円台に戻す展開に。ただ、バンコク時間午後に入ると、イベント前の調整の動きが強まり140円台前半まで下落。海外時間に入り、FOMCにて0.25%の利上げが決定され、パウエル議長の会見では、「将来の利上げはデータ重視のアプローチ」等の発言が見られると、ドル売り地合いに。ドル円は一時140円を割り込み、139円台後半を付けた。ただ、その後のパウエル議長の米国のインフレ目標達成にはまだ時間を要する旨の発言に米金利が反転する動きを見せると、ドル円も140円台前半まで戻し、そのまま140.24レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

今週当欄で幾度か記載あった通り、目下の注目材料は日米欧の金融政策発表である。昨日の米国の利上げに続き、本日は欧州でも25bpの利上げが見込まれているが、利上げ自体は市場参加者の想定内。明日の日銀政策発表については、現状維持を見込む向きが多いなか、インフレ見通しの上方修正がタカ派的内容となるかが焦点となりそう。ドル円は昨日こそパウエルFRB議長のハト派発言を受け円高で反応しているが、日米金利差が広がる中では円の軟調地合いは変わらないと考えている。円相場の変換となりえる材料といえば、その一つに米景気後退に伴うFRB早期利下げシナリオがあるが、足許米株市場でダウ平均が13連騰していることを鑑みればその蓋然性は低いだろう。よって、円の行方は日銀が政策修正ないしは何かのサプライズを提供できるかどうかにかかるといえそうで、明日の発表内容に注目したい。他方、タイ国内に目を向けると、本日予定されていた首相選出投票が延期となるなど依然として不透明な情勢が続いており、タイパーツは自国要因で買われる材料乏しいままドルや人民元の動きに身を委ねる時間帯が続くと思われる。(吉田)